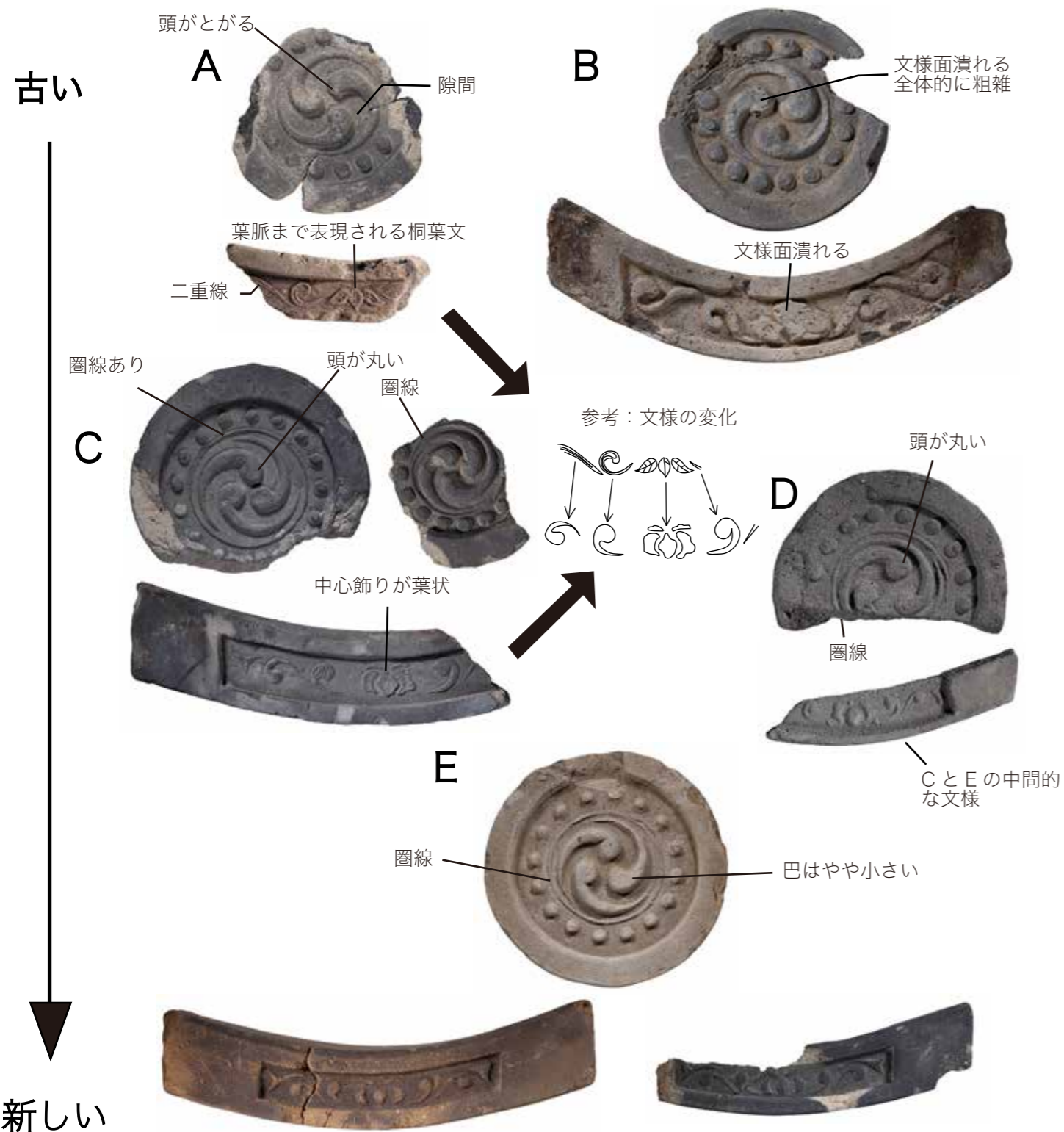


沼田城跡出土の瓦の見かた

遺跡から出土した資料を復元し検討することにより、資料の年代などが分かることがあります。沼田城跡では平成27・28年度発掘調査の瓦を過去の調査成果も含めて検討したことにより、次のことが分かりました。

- ・出土した瓦は、真田氏時代のものである。
- ・軒瓦の文様から、少なくとも3ないし2段階以上の時代の瓦が存在するようである。
- ・古いものは17世紀初頭に遡る可能性が高い。新しいものは17世紀前葉～中葉のものか。
- ・A・Bが古く、C～Eが新しい。A・BやC～E同士の年代差については、更なる検討が必要。

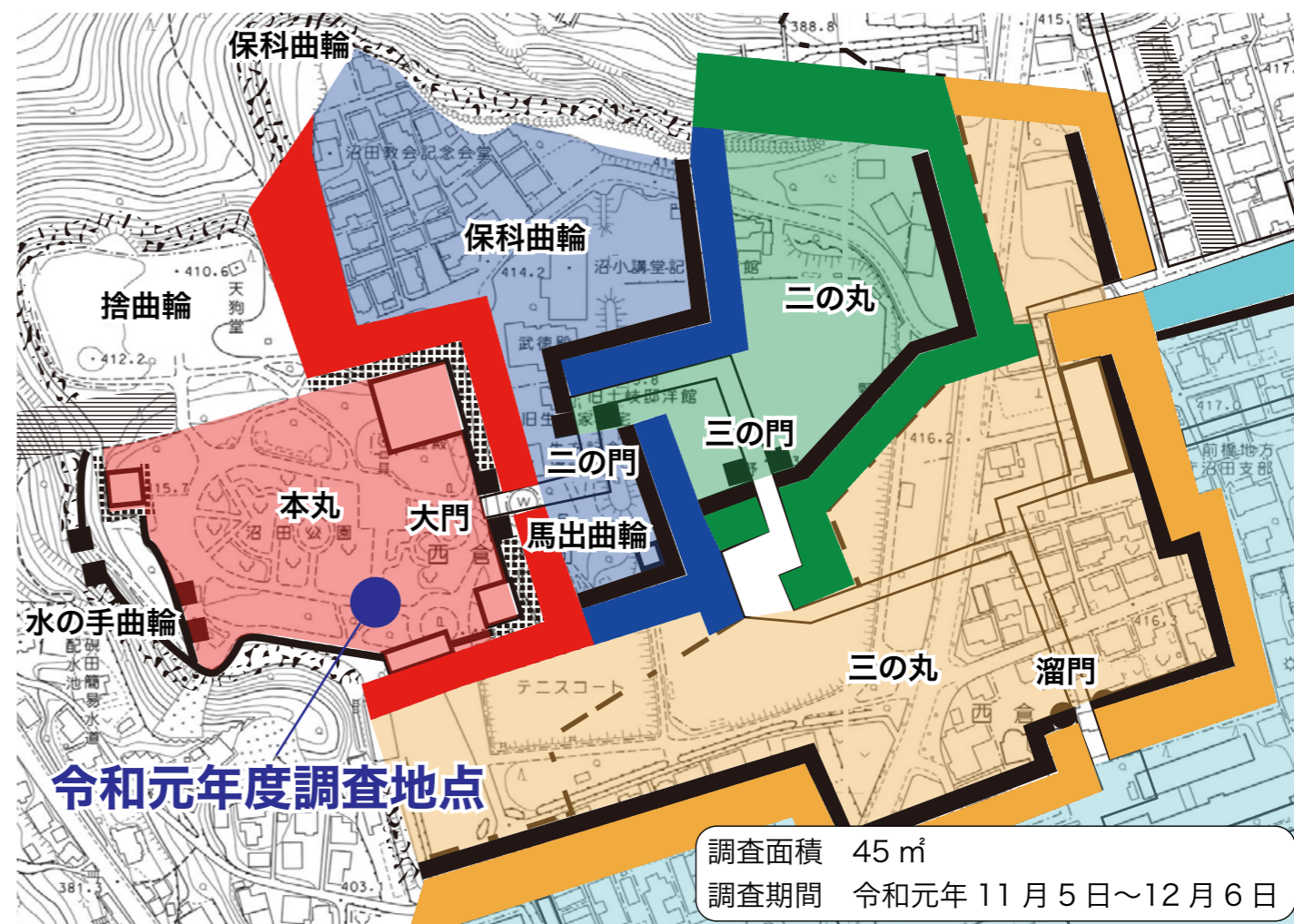
このように、資料の年代が分かれば、その資料が出土した遺構(建物等)の年代も分かるようになります。つまり、資料を復元することは、歴史の復元にもつながります。



沼田市指定史跡沼田城跡発掘調査

令和元年度現地説明会資料

沼田市教育委員会文化財保護課
令和元年12月8日(日)



今回の調査の成果

- ①沼田城は度重なる盛土整備を行っていることがわかりました
調査で確認できた盛土は大きく3時期に分けられ、さらに古い時期の存在が推定できます。自然地形が本来は北下がり地形であったことが推測できます。
- ②盛土の中から、沼田城の建物に使用された瓦が多数出土しました
新しく盛土整備する際に古い建物に使用されていた瓦と一緒に捨てたものと考えられます。出土した瓦には、17世紀初頭のものから17世紀中葉のものが混在しています。
- ③沼田城本丸に建設された建物の柱穴を確認しました
直径約30cmの円形の柱穴を3本確認しました。建物の規模等は不明です。

沼田城の盛土整備

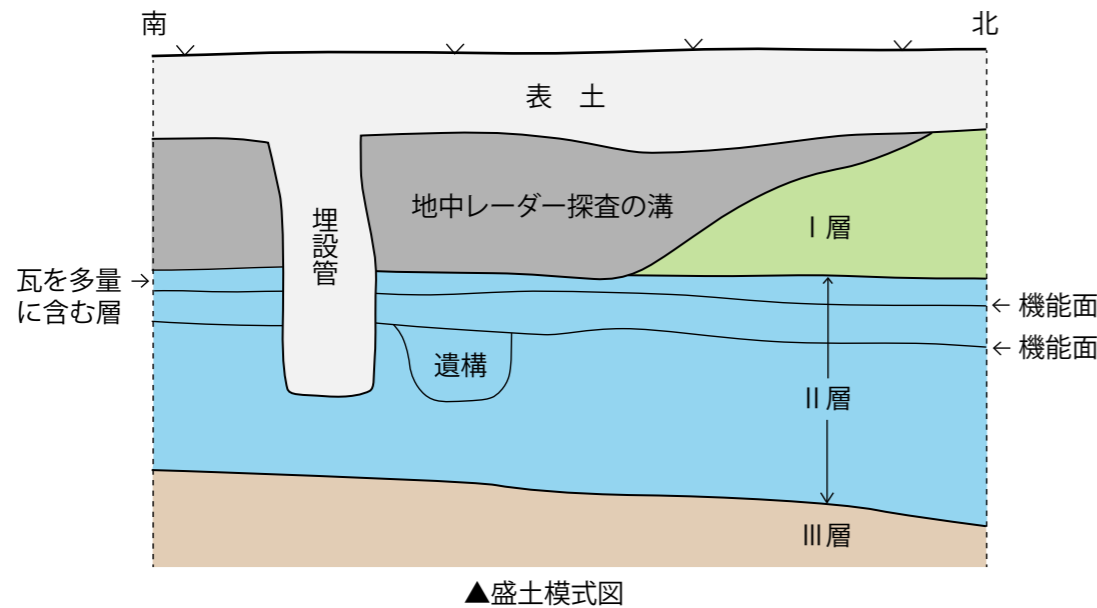
今回の調査で確認できた盛土は大きく3時期に分けることができます。

I層：現表土下に約40cmの厚さで確認できました。南下りの傾斜で、粘質土と砂質土を互層に盛っています。上部は削り取られている可能性があります。出土遺物はなく時期は不明です。

II層：約60cmの厚さで確認できます。粘質土を何層にも渡って水平基調で盛っています。上部は削り取られている可能性があります。途中に遺構を伴う面が少なくとも2面あり、その上の盛土には瓦が多量に含まれています。

III層：粘質土や礫層を厚く盛っており、最下部まで調査が及んでいません。瓦を含んでいることから、この層も沼田城を改修した際の盛土だと言えます。上面は北下りの傾斜を示しており、この付近の自然地形が現在と違い北下りであることが推定できます。

？：III層より古い沼田城が存在するのは確実です。自然地形がどうなっているかも重要です。



▲盛土模式図

瓦の出土状況

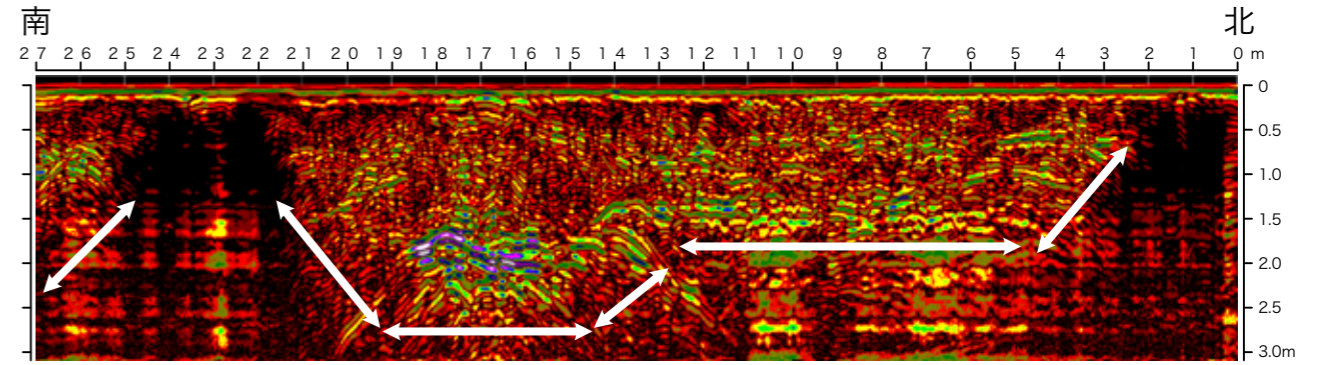
廃城時に屋根から落とされた瓦は、瓦を葺く際に使用した粘土と一緒に出土することが知られています。また、盛土を補強するための構築材として使用するには量が不足しています。このことから今回出土した瓦は、盛土整備をする際に古い建物で使用されていた瓦と一緒に捨てたものと考えられます。

本丸に建設された建物の柱穴

今回の調査で、II層とした盛土の中に2つの機能面（生活面）があることがわかりました。そのうち上の層で柱穴と溝跡が確認できました。柱穴は掘立柱で、瓦を葺かない小規模な建物のものと考えられます。いくつかの絵図では、調査地点付近に「十人番所」が描かれており、このような本丸内に建てられた小規模な建物の柱穴と考えられます。

地中レーダー探査による調査

今回の調査の当初の目的は、地中レーダー探査で確認された溝を調査することでした。探査結果と発掘の結果が一致する部分もありレーダー探査の有用性を認めると同時に、発掘調査でのみわかることの大きさを再認識しました。



▲地中レーダー探査で確認された溝

沼田城関連年表（普請・整備について）

- 1532 天文元年 沼田顕泰が沼田城築城
- 1580 天正8年 真田昌幸沼田城を得る
- 1583 天正11年 真田信幸、堀、土塁、大門等主要施設を普請
- 1585 天正13年 真田信幸、沼田城入城
- 1586 天正14年 真田信幸、二の丸、三の丸整備
- 1590 天正18年 真田信幸、沼田城を得る
本丸、保科曲輪、二の丸、三の丸、外曲輪を整備
- 1591 天正19年 城下に荒町、鷹師町、小人丁（町）を設定
- 1597 慶長2年 天守竣工
- 1612 慶長17年 大手枡形
- 1660 万治元年 5代藩主真田信利、天守櫓石垣等修復、本丸地形5尺余上げる
- 1681 天和元年 5代藩主真田信利改易
- 1682 天和2年 沼田城破却
- 1703 元禄16年 沼田藩主本多氏、堀、土塁最構築
- 1732 享保17年 沼田藩主黒田氏、三の丸に藩邸
- 1742 寛保2年 沼田藩主土岐氏、三の丸に藩邸
明治維新廃藩置県後、藩邸取り壊し、用地払い下げ
- 1914 大正3年 久米民之助、本丸、二の丸、三の丸の一部を買収
- 1916 大正5年 久米民之助、総合公園を造成
- 1926 大正15年 久米民之助、公園を沼田町に寄贈
- 1955 昭和30年 都市公園事業により沼田公園整備